

エスフォーム 支脚器付き固定具

【警告】

- 放射線下での使用は、通常環境に比べプラスチック類の強度劣化が著しくなる。使用前には製品にひび割れ等の欠陥が生じていないか、十分に確認すること。[小さな欠陥部分から大きな破損に至る恐れがある。]
- 転落防止のため、本装置ごと患者に安全ベルトをしたり、ベースプレートと寝台の間に滑り止めを敷く等の安全対策を行うこと。
- 支脚器の各ロックハンドルが確実に固定されていることを確認し、患者が触れることのないよう注意すること。[脱落、落下などの事故が起こる恐れがある。]
- 支脚器に患者の脚を載せたままで各ロックハンドルを操作するときは、支脚器を支えながら操作すること。[脱落、落下などの事故が起こる恐れがある。]
- 取手が切れたり、ほつれておらず、ベースプレートに確実に取り付けられていることを確認する。[脱落、落下などの事故が起こる恐れがある。]

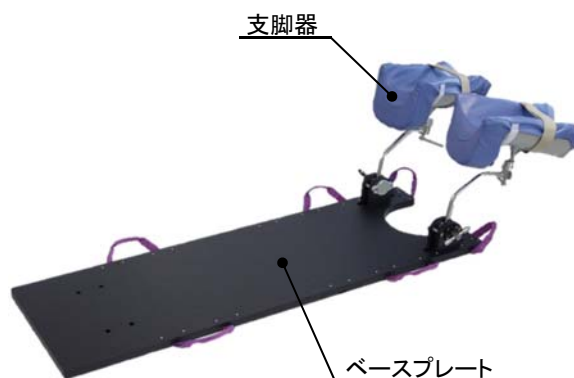
【禁忌・禁止】

- 各種画像診断装置及び放射線治療装置の平滑な寝台以外に設置しないこと。[破損する恐れがある。]
- 寝台からの突き出し可能範囲を超えて使用しないこと（足側先端から 195mm の U 字切欠き端まで）。[バランスを失い転落したり、破損する恐れがある]
- ベースプレートおよび支脚器は本品以外の組み合わせで使用しないこと。
- 許容負荷荷重（ベースプレート:1000N、支脚器：150N）を超えて使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 外観

外観例を示す。



2. 主要な型番、寸法、材質

寸法	ベースプレート L1400×W470×T25mm
重量	ベースプレート 11.5kg
材質	ベースプレート:CFRP サンドイッチ構造
	支脚器:ステンレス鋼

3. 原理

ベースプレートは各種画像診断装置及び放射線治療装置の寝台に設置できる。支脚器を用いて下肢を任意の姿勢に整位、保持することにより、患者の腹部および骨盤部を適切に固定することができる。

【使用目的又は効果】

画像診断、画像支援下での手術、インターベンショナル法、又は放射線治療の場合に患者の腹部及び骨盤部を適切に位置決め、固定する目的で特別に設計された枠、板などの装置をいう。連続的画像検査又は連続的放射線治療で容易に再現性のある位置決めをするためにも使用する。

【使用方法等】

- ベースプレートを各種画像診断装置あるいは放射線治療装置の寝台に載せ、寝台付属の位置決めバーなどを用いて位置決め設置する。

取扱説明書を必ずご参照ください

- (2) 必要に応じて、ベースプレートに支脚器を取り付ける。
- (3) 支脚器の高さ、角度を治療体位に合わせて調整し、ロックハンドルで固定する。
- (4) 脚が動かないようにバンドで固定し、患者の腹部および骨盤部を固定する。

【使用上の注意】

- ひび割れ等の欠陥や部品の欠損が見つかった場合、直ちに使用を中止し、製造販売業者又は販売業者に連絡すること。
- 寝台等ヘインデックスバーを用いて位置決めする場合、必ず両手で持ち、垂直に脱着すること。[破損する恐れがある。]
- 移載時は必ず4人以上の人員で、両手で確実に取手を持ち、バランスを崩さないように行うこと。[転落の恐れがある。]
- 移載時は手を滑らせないよう、手袋等をせず、乾いた手で取手を持つこと。[転落の恐れがある]
- 移載時にぶつけるなどの衝撃を与えないこと。[破損、転落の恐れがある]

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

- 水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて、30℃以下で保管する。
- 水平状態で保管する。

2. 耐用期間

本品の耐用期間は、正規の保守点検を実施した場合に限り、納入より5年(自己認証による)。

ただし、使用状況により差異が生じる事がある。

【保守・点検に係る事項】

- 使用前には、各構成部品に破損等がないか確認すること。
- 使用前には、各ロックハンドルの操作（固定及び解除）に異常がないか、ネジ類の緩みがないか確認すること。
- 汚れが目立つときには、中性洗剤か消毒用エタノールを含ませた布で清拭する。
- 十分な知識や技術を持たない者が整備を行わないこと。[本品の正常な機能が損なわれる恐れがある。]整備が必要な場合は、製造販売業者に連絡すること。

【主要文献及び文献請求先】

下記の製造販売業者に請求する。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

1. 製造販売業者

エンジニアリングシステム株式会社

長野県松本市笹賀 5652-83

TEL 0263-29-2633 FAX 0263-29-2638

2. 製造業者

エンジニアリングシステム株式会社